

大東大所蔵の日本・中国
の古典書跡に見る歴史的
価値について

大東文化大学所蔵の書跡資料

- 図書館所蔵作品
貴重書 70 数点、漢籍、文書
- 書道学科：70 数点
- 書道研究所
現代作家作品(百点以上)
拓本(404点、Fチーム)
- いずれも今回の事業でほぼ高精細画像撮影、デジタルアーカイブ化

図書館貴重書の内容

- 日本書跡

平安～昭和時代

古筆切、書状、手鑑、
和歌懐紙、短冊

- 中国書跡：清時代の書画(查昇、梁同書など)中心

- 拓本：高島塊安所蔵拓本など

重要文化財級のものはないが、著名な人物の作品や貴重な拓本等が所蔵される

昭和切

附錄

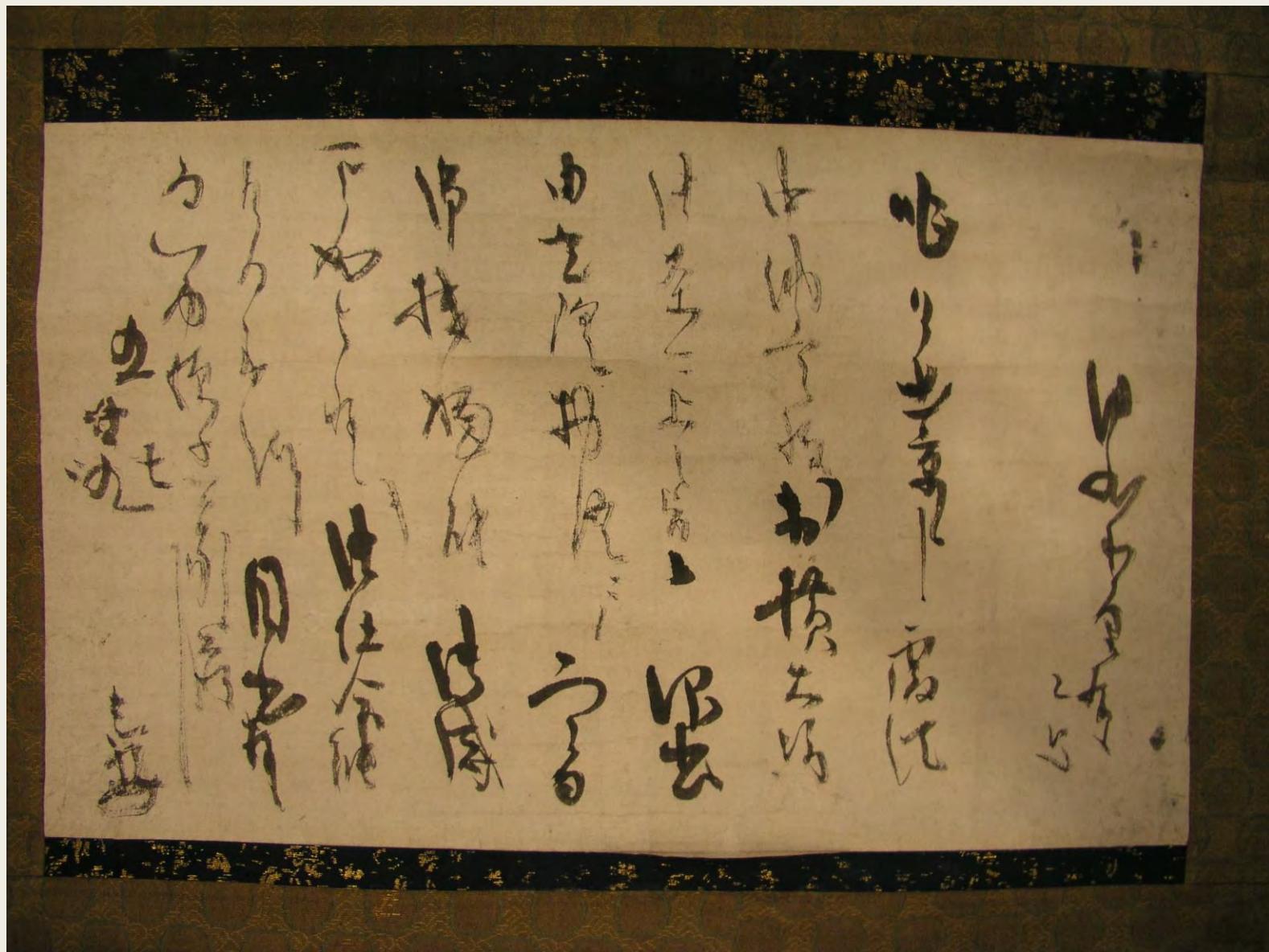
一月二十三日
春道のつま、列樹
やまとよしのひづる、一月三日は
うれしそうにねむらきわす
うれしそうにねむらきわす

此卷之書題爲
「唐宋八大家文選」
卷之三

昭和切

- 藤原俊成(1114～1204)の晩年の書
- もと『古今集』巻1～10までの1冊のうち、巻5秋歌の部分
- 昭和3年(1928)に分割→昭和切
- 起筆の鋭さや激しい転折などの
 独特な書風
- 他所蔵先のものと併せて研究するこ
 とができる貴重

本阿弥光悦書状



書道学科書跡の内容

■ 日本書跡

室町時代(15C)～昭和時代(20C)

和歌懐紙（後土御門天皇など）

江戸の書（近衛信尹、貫名海屋など）

絵と書（三十六歌仙帖）

明治の書（日下部鳴鶴、中林梧竹等）

後土御門天皇和歌三首懷紙

詠三首傳譯

梅童社

ひらきよひより古より
ゑはれと秋の色あゆ
うて風よし風

初章后

日水くよめ、志称みの
ぬこりよもと秋よすゆ
うつすよめと

社頭水

かも川やと水あふるの
よえせねりを風も風と
あやめぬうせ

賀茂
御門
天皇
和歌
三首
懷紙
（延喜年七月某日）

近衛三藐院信尹公初冬暨文

東風有毛才
此風煦煦有微
王馬風華早
日暮猶未休
官也一念之謂
望也一念之謂

三十六歌仙帖

尾
柿本人麻呂
緑々とけくにふの
明音しらすかんり
みよせりぬ



書道学科書跡の内容

- 中国書跡

- 清～ 楊峴、楊守敬

- 印譜 小林斗盦、生井子華

- 拓本

- 散氏盤銘拓本、秦權量銘拓本軸、
多胡碑

- 甲骨片

- 琨や漢銅鏡

田下部鳴鶴隸書

攀開華落春不管拂意事休對
人言水暖水寒魚自知會心處
還期馱賞

乙巳年冬月寫於蘇州



楊峴對聯

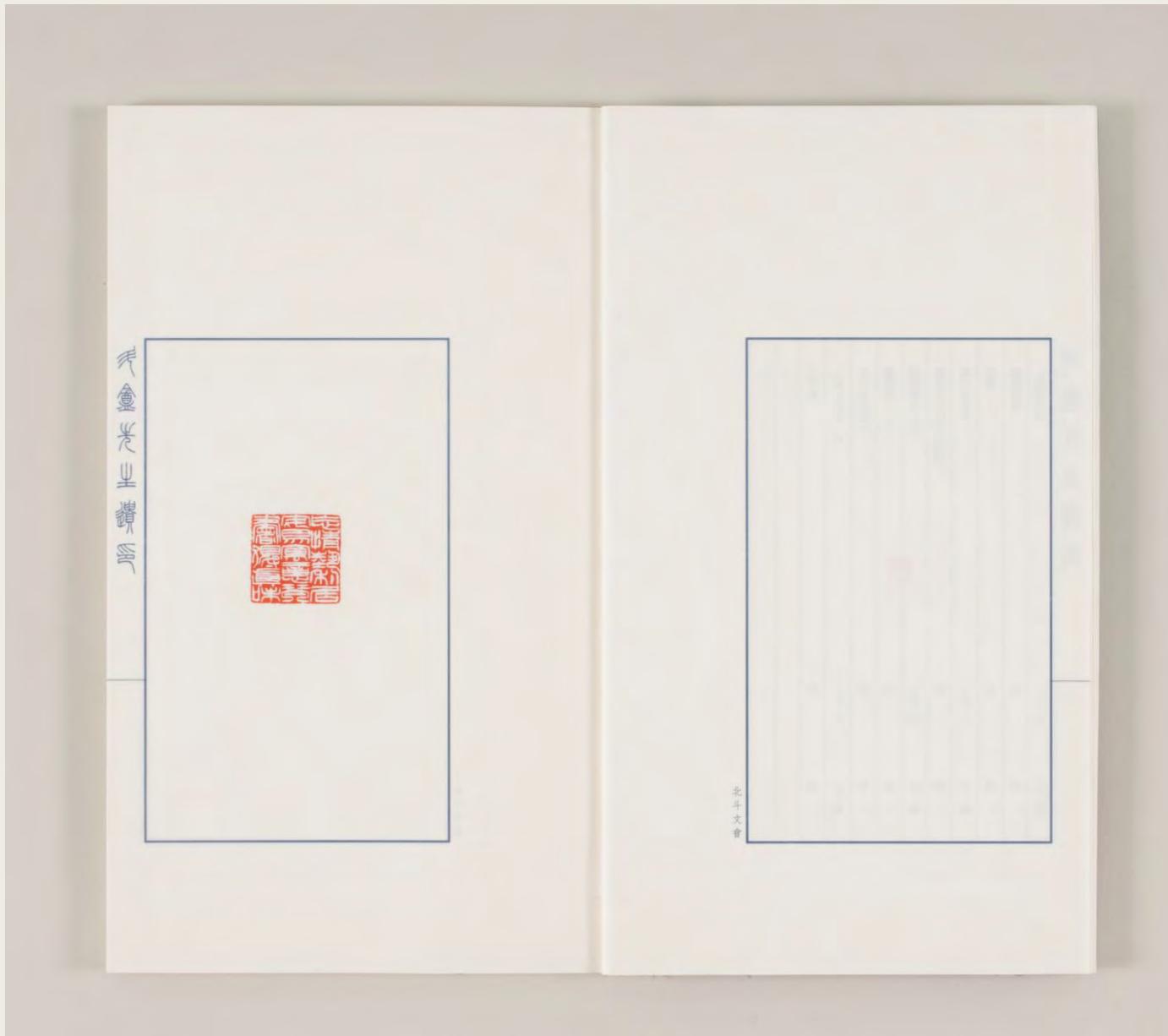
仁慈厚德先生雅賞

立
爭
宗
時
為
寶

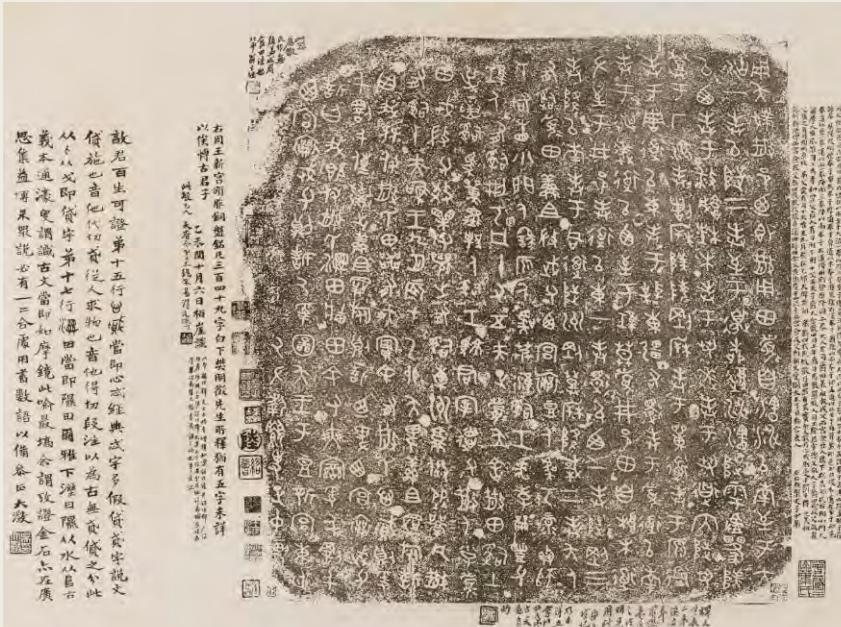
直
叱
繩
正
叱
縣

葫蘆島
楊峴書

小林斗盦印譜



散氏盤銘拓本



禮氏圖文
光緒年教官之印
禮氏圖文
用矢媒散邑廸卽散用田麌自灤涉召南至于大
沽一再召陟二再至于邊赤邊涉溫陟雪獻繫奚
召鹵尋于散驛鞍木弄于最轟弄于豐衡內陟岡
尋于广源再剗麻陵剗麻弄于翼衡弄于原衡
弄于周衡召東弄于幹東瑞石還弄于麌衡召南
弄于邵衡召鹵至于堆尋麌并邑田自橋木衡
广至于井邑再衡召東一弄還召鹵一再陟剗三
弄降召南弄于同薄陟州剗尋麻降槩二弄失人
有嗣麌田義且敍故父鹵宮襄豆人虞乃眾貞師
氏若相小門人謠原人虞尋淮嗣工虎孝聯豐父
堆乃有嗣刑可凡十又五夫止麌大舍散田嗣土
必雷嗣馬罵墨牧人嗣工駢君寧德父敬人字麌
田戒段父效聚父乾此有嗣巢州聚倣從鬻凡散
有嗣十夫唯王九月辰牛乙申矢卑善且寡旅斯
曰我既付散氏田器有爽實令有散氏心賊則爰
千割千傳棄之弗且寡旅則斷廸卑鹵宮襄成父
誓曰我既付散氏灤田牘田今又爽察爰千割千
鹵宮襄成父刪斷了爰圖矢王于豆新宮東延

金石碑版法帖拓本 多胡碑



甲骨片



鱈魚黃澄泥太平有象硯



- ・書道史などの授業で活用できるようバランス良く収集
→教育的価値
- ・特に修理教材として活用された例
後土御門天皇和歌三首懐紙

蘇三首信詩

梅董社

ひちよひの石に
ぬびれぬ秋色の
うららかな風

初雪

ほゆくはるかに
ふらもと根すゆの
ちづきをと

祐頭水

かも川やと深さがいの
かくせめりをぬる祐
あやめのせ

賀新
おもて年下日

後土御門天皇和歌三首懐紙の 修理

- 明応4年(1495)和歌会において後土御門天皇が詠んだ和歌三首を書き留めたもの
- 平成24年度修理
大学院生が授業の関連として実施
- 修理前：シミや折れが著しい
- 解体→裏打ち紙の取り替え、欠損部への補紙→表具の元使い、太巻軸・紐の新調

